



水面に浮かぶサガリバナ(西表島)



八重山

O K I N A W A Y A E Y A M A

沖繩 諸島 まだ見たことのない景色に出会う旅へ



Be.
Okinawa

発行



沖縄県

お問い合わせ先 一般社団法人 八重山ビジターズビューロー

〒907-0022 沖縄県石垣市大川547番地 興ビル206号室

TEL 0980-87-6252 FAX 0980-87-5509 WEB <https://yvb.jp>

※許可なく、転載・複製することを禁じます。 2019.12



島色、無限大∞
Infinity Yaeyama

壮大な景色と息をのむほど美しい海が広がる
八重山諸島。

本島とは違った自然や景色があり、
珍しい文化も多い個性派の島々。
独特の生態系を持ち、
この地域でしか見られない固有種も多い。

そんな八重山諸島の魅力をご紹介します。



与那国島



石垣島から 約35分

石垣島から 約4時間

鳩間島

石垣島から 約45分

上原港

石垣島から
上原港まで 約45分

加屋真島

竹富島

石垣島から 約35分

小浜島

石垣島から 約15分

西表島

石垣島から
大原港まで 約40分

大原港

石垣島から 約35分

黒島

新城島

石垣島から 約70~90分



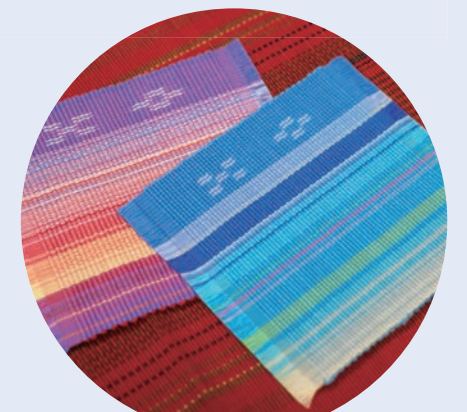
波照間島



台湾

台湾から約280km
(与那国島までは約111km)

東京から約2,000km





石垣島で一番の景勝地ともいわれる川平湾

石垣島

いしがきじま
人口49,771人（令和元年11月末現在）

八重山諸島の玄関口である石垣島。島の南部にある市街地と、その周辺に人口の約8割が暮らしている。コンパクトな街を抜けるとすぐ、山々やサトウキビ畑、パイナップル畑などの自然が広がる。島の北西部にある川平湾は七色にきらめく綺麗な青さから「川平ブルー」と呼ばれ観光客に人気。



島内散策をする水牛車

竹富島

たけとみじま
石垣島から船で約15分
人口366人（令和元年11月末現在）

赤瓦の屋根、サンゴの石垣、白砂の道にカラフルなブーゲンビレア。竹富島の町並みは、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に認定され、沖縄の原風景ともいわれる景色が残る島。水牛車に乗って集落を観光することができ、風情ある集落をゆっくり徒歩でめぐる散策もおすすめ。



西表島のマングローブ密林地をカヌーで散策

西表島

いりおもてじま
石垣島から大原港まで船で約40分 石垣島から上原港まで船で約45分
人口2,459人（令和元年11月末現在）

島の面積約90%以上が亜熱帯の原生林に覆われている西表島。特別天然記念物のイリオモテヤマネコをはじめオオゴマダラなど希少生物の宝庫。大小合わせて約40の川があり、日本最大級のマングローブ林や悠々と流れる滝など、ジャングルが広がるフィールドで様々なアクティビティが楽しめる。



浅瀬を渡り由布島へ向かう水牛車

由布島

ゆふじま
西表島から水牛車で約10分
人口13人（令和元年11月末現在）

西表島から400mの浅瀬をのんびり水牛車で渡る、周囲2km程の小さな島。島全体が植物園になっていて、亜熱帯の色鮮やかな動植物を見学できる。歩いて30分ほどで一周でき、ゆったり過ごせる自然のテーマパーク。



瑠璃色の海と名高い鳩間島の海

鳩間島は歩いて周る小さな島。あまり観光地化されておらず瑠璃色の海と手つかずのサンゴ礁がそのまま残っている。島の中央部にある唯一の丘陵部「鳩間中森」からは島を360°見渡せる。2005年に放映されたテレビドラマ「瑠璃の島」の舞台にもなり、今でも人気を博す。

鳩間島

はとまじま
石垣島から船で約45分
人口59人（令和元年11月末現在）



加屋真島

かやまじま
ツアー船で小浜島から約10分
人口1人（令和元年11月末現在）

加屋真島は小浜島の近くにある周囲2.5kmほどの小さな島。多数の野ウサギが生息しており、島内を自由に駆け回っている姿に出会える。

新城島

あらぐすくじま
ツアー船で石垣島から約35分
人口：上地島11人、下地島1人
（令和元年11月末現在）

上地島と下地島の二つからなり、“離れ”を意味するパナリ島とも呼ばれている素朴な風景が残る島。手つかずの自然が多く残り、秘島としても知られる。



黒島

くろしま
石垣島から船で約35分
人口230人（令和元年11月末現在）

島の形がハート型に似ている黒島は別名“ハートアイランド”と呼ばれるのどかな島。人口の10倍以上、3000頭もの牛があちこちで飼育され、放牧された牛を眺めながらのんびり散策できる。3種類のウミガメが産卵に訪れる世界的にも珍しいビーチ「西の浜」は絶景スポット。

朝の連続ドラマ「ちゅらさん」の舞台になった島で、南国らしいリゾート施設と沖縄の離島らしいサトウキビ畑や牧場が共存するノスタルジックな島。八重山諸島のほぼ中央に位置し、「八重山のランプス（へそ）」^{うぶだき}とよばれる大岳からは石垣島や竹富島、天候が良ければ波照間島まで八重山諸島を見渡せる。

小浜島

こはまじま
石垣島から船で約35分
人口695人（令和元年11月末現在）



美しい波照間島ブルーのニシ浜

波照間島

はてるまじま
石垣島から船で約70～90分
人口514人（令和元年11月末時点）

日本最南端の有人島で、石垣島からさらに約50km南にある。白い砂浜が約1km続くニシ浜は、息をのむほど美しい海の色で“波照間ブルー”と呼ばれる。日没後は星が綺麗に見えるとして星空観測に訪れる人も多く、日本で観測できる88星座のうち84星座が観測できる。



海そばで放牧されるヨナグニウマ

与那国島

よなくにじま
石垣空港から飛行機で約35分 石垣島からフェリーで約4時間
人口1,715人（令和元年11月末現在）

日本最西端に位置し、八重山諸島の中でも独特で雄大な景色が広がる。石垣島まで約127km、台湾まで約110kmと台湾の方が近い国境の島。島の東部にある東崎(あがりざき)、北西部の北牧場で放牧されている日本在来馬の1種である天然記念物のヨナグニウマに出会える。

個性的な文化や自然があふれる八重山諸島は

日帰りではもったいない。

泊まってゆっくりすることで、より島の魅力を感じられる。

朝日や夕焼けを楽しんだり、

夜にしか見られないものを体感しよう。

島を感じる

島に宿泊する事で感じるものがきっとある

朝日に染まる竹富島の朝

暮らすように滞在

島で過ごす朝や夕方のひととき

時を忘れる感動体験

いつまでも眺めてしまう海の色



島内散策は夕方～夜もおすすめ



竹富島の西棧橋

豊かな森の中でトレッキング体験

緑を感じ、風を受け、鳥の声や土の香り…

五感で大自然を満喫しよう



マイナスイオンを浴びながら、トレッキングを

トレッキングでは、立ち止まって目をつぶり、耳を澄ませよう。川のせせらぎや、小鳥のさえずりなど大自然が奏でる音が楽しめる。

海の上で迎える幻想的な世界

夜へと移り変わる景色を

サンセットカヌーで



沈んでいく夕日を、カヌーの上で

オレンジ色に染まる空を見ながら、カヌーをゆっくり漕ぐ。沈みゆく夕日が水面に輝くグラデーションは、幻想的。

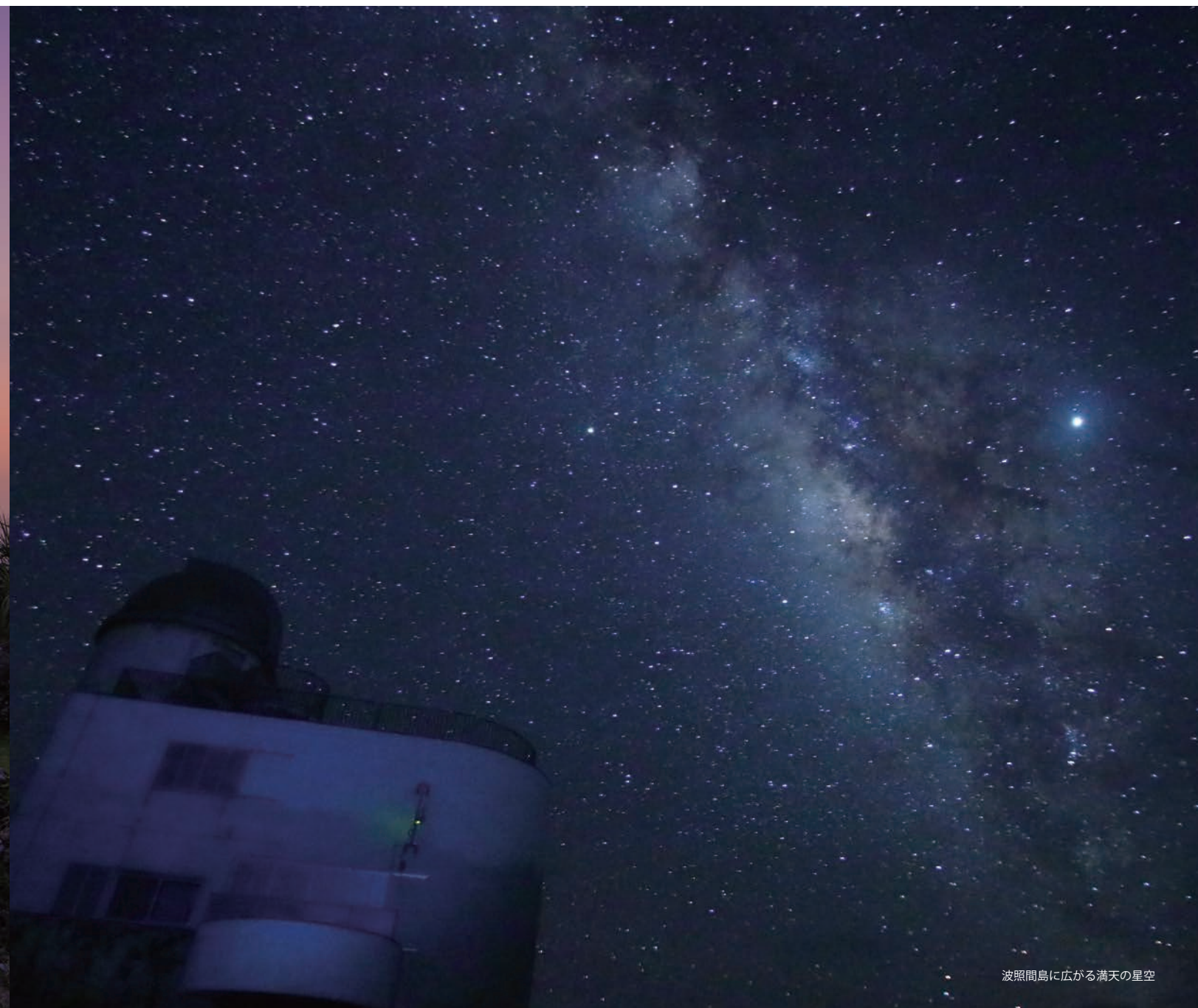
日本で最後に沈む夕日を眺めながら
穏やかな時間を感じる



日本最西端の碑と日本で最後に見る夕日

島の最も西に位置する「西崎」。展望台になっており、ここでしか見ることのできない日本で最後に沈む夕日を鑑賞できる。

日本最南端の島で
圧巻の天然プラネタリウムを



波照間島に広がる満天の星空

一年を通して天の川ウォッチができ、星空観測に訪れる人も多い。冬から初夏にかけては南十字星も見られる。

八重山諸島に溢れる魅力

工芸品



アンガマ 先祖を表す木彫りの面



クバ民具 沖縄の植物で作られた伝統民具



ミンサー織り いつ(五つ)の世(四つ)までも未永くという思いが込められている



ドウタテイ 与那国島の伝統織物で作られたカバン



石垣牛 全国のブランド牛のルーツとして知られる



八重山そば 八重山のソウルフード。各島でこだわりの一杯がある



島フルーツ 南国らしい色鮮やかなフルーツ



島野菜 形が珍しい「ウリスン豆」



グラスボート カラフルな魚やサンゴ礁を見て楽しむ



ビーチライド 極上のロケーションで馬と一体になれる体験



ダイビング 八重山の海の中は、天然水族館のよう



トレッキング 間近で島の植物や生き物の様子を観察しながら自然体験



陶芸 シーサーや小皿などオリジナルの作品作りを



三線 語り継がれる伝統を体験



織物 ミンサーのコースターやしおりなどの小物を作る体験



クバ餅 与那国島伝統のお餅づくりを体験

自然体験

伝統体験